

草の根・人間の安全保障無償資金協力「比消防局に対する緊急車両整備計画」引渡式

平成31年3月26日

[英語](#)



3月25日、羽田浩二フィリピン大使は、比消防局において、草の根・人間の安全保障無償資金協力事業の引渡式に出席しました。本式典では、比消防局に対する緊急車両整備計画（注1）のうち、2017年度「ルソン地方20市町に対する緊急車両整備計画」の引渡式が実施され、アニョ内務自治大臣、バニアゴ消防局長、車両配置先のルソンの20市町長、約350名の消防隊員など関係者が出席しました。

フィリピン消防局では、人命救助および消火活動に必要な緊急車両が不足しており、国内全土の消防署に必要な数の緊急車両を配置することが困難な状況です。本事業は、フィリピン消防局の救助・消火活動の強化を目的として、2013年の台風ヨランダ復興支援を契機に始まりました。今回の引渡式を以って4年連続で緊急車両配置事業を実施し、合計998,357米ドル（約1億円）が供与され、計76台の緊急車両が整備されました。

本事業により、フィリピン消防局の緊急事態に対する諸活動が強化され、ルソン地方のおよそ300万人が裨益することが期待されています。

なお、草の根・人間安全保障無償資金協力は「人間の安全保障」の確保に資するものであり、フィリピンでは、1989年から現在に至るまでの間に、計543件の事業を実施いたしました。こうした草の根レベルの支援についても我が国は従来積極的に取り組んできており、本件事業は我が国とフィリピンとの戦略的パートナーシップの強化に寄与するものです。

（注1） 本緊急車両整備計画は草の根・人間安全保障無償資金協力事業の一環として実施されています。

【2014年度】

1. 案件名：台風ヨランダ被災地向け緊急車両整備計画
2. 供与金額：202,760米ドル
3. 供与台数：20台（消防車17台、救急車3台）
4. 配布先：ピサヤ地方（17市町）

【2015年度】

1. 案件名：ピサヤ地方11市町に対する緊急車両整備計画
2. 供与金額：240,572米ドル
3. 供与台数：17台（消防車9台、救急車7台、レスキュー車1台）
4. 配布先：ピサヤ地方（11市町）

【2016年度】

1. 案件名：ミンダナオ地方15市町に対する緊急車両整備計画
2. 供与金額：250,247米ドル
3. 供与台数：17台（救急車14台、消防車2台、レスキュー車1台）
4. 配布先：ミンダナオ地方（15市町）

【2017年度】

1. 案件名：ルソン地方20市町に対する緊急車両整備計画
2. 供与金額：304,778米ドル
3. 供与台数：22台（救急車14台、ポンプ車6台、レスキュー車2台）
4. 配布先：ルソン地方（20市町）

<報道記事> P T V

出典：https://www.youtube.com/watch?v=hoAuCn_7uTs&feature=player_embedded



内容：

This morning Bureau of Fire Protection (BFP) will receive over 20 emergency vehicles from Japan government. This consists of 14 ambulances, 6 pumpers and 2 rescue trucks. The said emergency vehicles will be received by DILG Secretary Ano.

The emergency vehicles will be distributed to various local government units in Regions 1, 2, 3, 4, 5 and Cordillera Administrative Region. In total, the Japan government has donated over 70 emergency vehicles to BFP. BFP expressed their gratitude to the continued support of the Japan government in the agency's campaign against fire related disasters.